

平成29年度群馬県環境賞顕彰について

1 顕彰の目的

良好な環境の保全及び創造並びに自然保護に顕著な功績があったものに対し、群馬県環境賞を授与し、県民の環境に対する意識の高揚に資することを目的とする。

2 受賞者

10個人・10団体 計20個人・団体

氏名または名称（敬称略）	受賞分野
かとう のぶお 加藤 信男 （一社）群馬県浄化槽協会理事	環境の保全及び創造の分野
こじま かつや 小島 克也 （公社）群馬県環境資源創生協会理事	環境の保全及び創造の分野
たかはし ひろし 高橋 廣司 （特非）竹取物語理事長ほか	環境の保全及び創造の分野
株式会社ミツバ	環境の保全及び創造の分野
群馬県森林土木建設協会	環境の保全及び創造の分野
渋川連合婦人会	環境の保全及び創造の分野
高崎市立塚沢小学校	環境の保全及び創造の分野
利根沼田明るい社会づくりの会	環境の保全及び創造の分野
さくらぎ としお 櫻木 利夫 伊勢崎市環境指導員	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
たかはし かずゆき 高橋 和行 太田市環境保健委員長	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
なぐも みつお 奈雲 光雄 高崎市環境保健委員	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
ほほ きくじ 保々 喜久治 安中市衛生委員ほか	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
群馬県立伊勢崎興陽高等学校	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
なかざわ かずのり 中澤 和則 （特非）群馬県自然保護連盟理事	自然保護の分野
みやばら よしお 宮原 義夫 群馬県自然環境調査研究会会員	自然保護の分野
おおた すずむ 太田 進 日本野鳥の会群馬会員	野生生物保護の分野
倉淵ほたるの会	野生生物保護の分野
館林クロメダカの会	野生生物保護の分野
富岡獺友会	野生生物保護の分野
ふるや桜並木づくり推進委員会	野生生物保護の分野

平成29年度群馬県環境賞顕彰(環境功績賞)受賞者の功績等

番号	受賞者(敬称略)	功績概要及び活動状況
1	加藤 信男 (前橋市)	群馬県浄化槽協会理事として、浄化槽の適正管理や合併処理浄化槽への転換の必要性を説くなど、その普及に努め、本県の水環境の保全や排水処理の改善に貢献している。また、地域における浄化槽教室の開催を実現するなど、環境保全意識の高揚に寄与している。
2	小島 克也 (伊勢崎市)	群馬県環境資源創生協会理事として、廃棄物不法投棄防止立看板の設置や不適正処理防止巡視パトロールなど、啓発活動を行政機関と連携して展開し、生活環境の保全に寄与している。また、研究会・講習会の開催に携わるなど、循環型社会形成の普及啓発に尽力している。
3	高橋 廣司 (渋川市)	森林土木事業の法面緑化に着目したボランティア組織「上緑森林整備隊」を設立し、隊長として活動を実施している。また、「特定非営利活動法人 竹取物語」を設立し、竹林整備活動や竹材の用途開発を行うなど、本県の放置竹林の整備と資源利用に尽力している。
4	株式会社ミツバ (桐生市)	県や森林所有者と森林ボランティア協定を締結し、10年間にわたり森林整備活動を実施するなど、森林整備に尽力している。平成27年度から3年間は藤岡市及び多野藤岡振興局と協定を締結し、桜山森林公園及び周辺の森林整備に取り組んでいる。
5	群馬県森林土木建設協会 (前橋市)	平成19年度から県内各地で市町村等と協定を締結し、協会各支部の会員が下刈りや除伐などの森林整備活動を継続的に実施するなど、森林整備に尽力している。また、水源林の保全や観光地の森林整備、キャンプ場等の環境保全活動など、地域のニーズを踏まえた多彩な活動を実施している。
6	渋川連合婦人会 (渋川市)	毎年春から夏に畑でサルビアなどの花を種から育て、小中学校や公民館等に苗を無料配布し、地域の景観づくりや環境美化に貢献している。また、レジ袋削減店頭啓発活動を実施するとともに、市の環境まつりで啓発活動を行い、環境保全意識の高揚に寄与している。
7	高崎市立塚沢小学校 (高崎市)	毎年6月に全校の節電集会を開催し、節電・節水について啓発を行い、各クラスが節電に向けた目標を発表している。また、節電・節水ポスターを作成し地域の店舗や掲示板に掲載するほか、地域住民・企業などと協力しエコキャップを収集するなど、地域と連携した環境活動を実践し、環境保全や環境意識の高揚に寄与している。
8	利根沼田明るい社会 づくりの会 (沼田市)	平成19年度から「NOレジ袋マイバッグキャンペーン」を毎年実施し、レジ袋削減の普及啓発に尽力している。また、「環境フォーラムinぬまた」への参加や「地球温暖化防止対策ミニ講演会」を各地区で実施するなど、地域における環境保全意識の高揚に寄与している。
9	櫻木 利夫 (伊勢崎市)	伊勢崎市環境指導員として、10年間にわたり違反ごみのパトロールや分別指導を実施し、地域の環境美化に貢献している。また、古紙類や衣類などの資源物の回収に尽力し、ごみの減量とリサイクルの重要性を説く市民の模範となっている。
10	高橋 和行 (太田市)	太田市環境保健委員長として、12年間にわたり地域のごみステーションの管理・清掃やごみの分別収集等に取り組み、地域の環境美化の推進に尽力し、環境保全意識の高揚に寄与している。
11	奈雲 光雄 (高崎市)	高崎市環境保健委員として、29年間にわたりごみステーションの管理や資源物の分別指導等を行い、地域の環境美化の推進に尽力している。また、ごみ収集日以外に資源物を排出できる倉庫の管理を主体的に行い、効率的な資源物の回収に貢献した。
12	保々 喜久治 (安中市)	松井田地区の衛生委員として、35年間にわたり継続的にごみステーション管理やごみ出しの指導、ごみ拾いを実施している。また、不法投棄防止活動やごみ減量化に向けた古紙類回収のリサイクル活動の啓発を実施するなど、地域の環境保全に貢献している。
13	群馬県立伊勢崎興陽 高等学校 (伊勢崎市)	食を科学する系列の授業及び専門クラブにおいて、食品廃棄物等の資源化に係る調査研究に取り組み、規格外野菜を活用した食品の製品化や菌床栽培に必要な資材として活用する技術を開発するなど、ごみの減量化・再生利用等の推進に寄与した。
14	中澤 和則 (高崎市)	県内の野鳥生息調査に従事するとともに、線虫やコケ植物の調査研究を行っている。また、群馬県自然保護連盟理事として、自然観察会などにおいて指導員を務め、自然保護の普及啓発に尽力している。
15	宮原 義夫 (高崎市)	群馬県自然環境調査研究会の動物部門の中心メンバーとして長年にわたり調査活動を行い、本県の絶滅のおそれのある野生生物の調査研究に尽力している。また、桐生市や旧大間々町において自然環境に関する調査に携わるなど、自然環境の保全に寄与している。
16	太田 進 (館林市)	日本野鳥の会会員として、「定例探鳥会」において参加者への環境保全、美化に関する啓発を行っている。また、愛鳥モデル校講師として、野鳥を通じた野生生物保護を子供の目線で指導するなど、野生生物保護意識の高揚に寄与している。
17	倉淵ほたるの会 (高崎市)	ホテルの生息地の清掃や草刈、植栽等の整備を行うとともに、ホテルの餌となるカワニナの養殖にも取り組んでいる。また、毎年6月に「ほたるの鑑賞会」を開催し、地域内外の来場者にホテルについての学習機会を提供するなど、野生生物保護意識の高揚に寄与している。
18	館林クロメダカの会 (館林市)	環境省版レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に評価されているミナミメダカ(クロメダカ)の保護、増殖活動や、長年にわたり市民に対し啓発活動を実施し、自然環境の保全や環境意識の高揚に寄与している。
19	富岡猟友会 (富岡市)	射撃指導員を講師とした射撃研修会を実施等により有害鳥獣の捕獲及び狩猟の適正化に貢献している。また、県猟友会が実施するキジやヤマドリ放鳥事業に協力するなど野生鳥獣の保護、鳥獣資源の確保にも貢献している。
20	ふるや桜並木づくり推進 委員会 (安中市)	地域から消えてしまったホテルを復活させるため、餌となるカワニナの生息状況調査や、ホテルの幼虫の飼育・放流を行うことにより、ホテルが飛び交う環境を復活させた。また、地域でのホテル鑑賞や、子ども育成会などとともに、河川の生き物調査や水質テストを行うなど、環境学習の普及にも貢献している。